

なかさと

人 口	7,916
男	3,916
女	4,000
世帯数	1,713

7 月 1 日現在

農業委員選舉

投票率九二・三五パーセント

去る七月十五日、執行された中串村農業委員会委員の一選選挙は、昨今のきびしい農業情勢を反映して、選挙民の関心も高く、九十二・三五%と前回（昭和四十一年七月執行、九十・〇二%）を上回る投票率であった。

今回の農業委員会選挙の結果は、次の通り。

にやる委員十六名を選んだものである。なお、農業委員会の委員は、村議会推薦の委員三名、農業協同組合から選出される委員二名、あわせて二十一名で構成される。

農集電話

南地区開通される

去る三月開通の北地区農集七
二七戸につき、工事中であ
った南地区農集四百十五戸が、七
月十一日開通されました。この
開通で中里村の電話普及率は、
一般電話を含み八十％強となり
山間農雪地の農村の生活に大き
な力となるものと思えます。

沢、土倉、倉下）であります。
住民各位には工事施行に当たり
長い間いろいろとお世話ご協力
いただいたことがとうございまし
た。今後共よりしくお願いいた
します。

尚今回開通の南地区の電話番
号表、次の通り訂正をお願いいた

今回開通は倉俣地区（芋川、倉俣、原町、新里、重地、下山、清田山、田代、牧畑、西方、西田尻、小色）清津岬地区（横濱原、高道山、朴木沢、朴木沢新田、市之越、鷹取、白羽、三、新田、市之越、角田、基

市之郷、喜井惣五郎八三三八を八三八八に、朴木沢ノ樋口厚八四三を八三四五に、朴木沢ノ樋口裕行八三二四を八三四二に訂正して下さい。

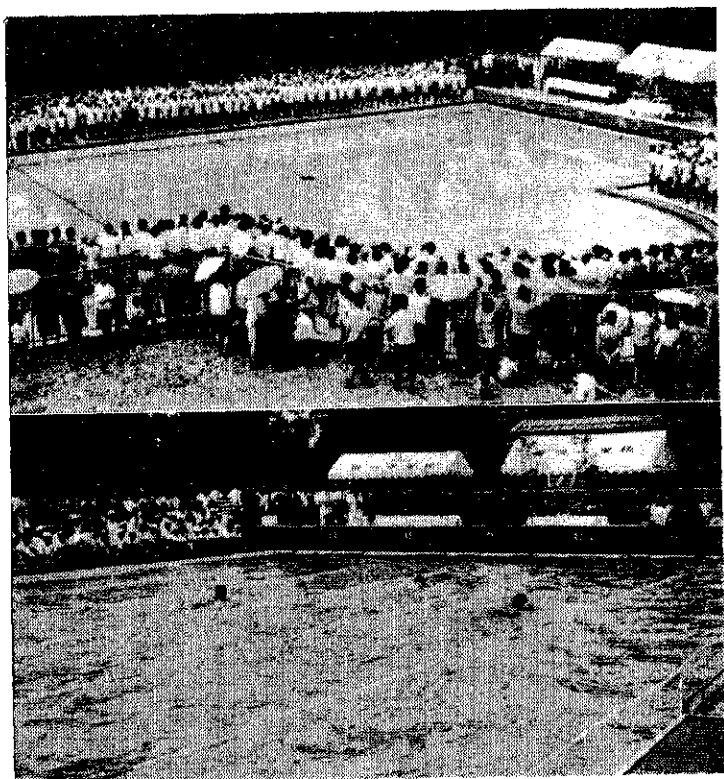
田沢小、中学校

プール開き行なう

去る七月五日、午後一時半より、田沢小中学校のプール開きがおこなわれた。毎年夏になると、この水死事故が多発しゆるがせにできない大きな社会問題になつており、そうしたいまわしい水難事故から子どもを守り、暑い夏を健康に、しかも安全にたのしく過ごせたいという地域住民からの強い要望で出来

投票者數	三、一〇四名(男)
一五四八名、女一、五五六名)	
棄權者數	二五七名(男二三三名、女二二四名)
投票率	九十二・三五%(男九十二・〇九% 女九十二・六二%)
候補者別得票數	
吉田兼次郎	二二二・三二五
高野 正光	二〇五
桑原 寛	一九八
山田 治栄	一九八
古高 豊平	一九〇
樋口八十吉	一八七・三五三
樋口 進	一八五・三四九
山岸已之助	一七四
大島 昭三	一七二
桑原 清	一七〇
樋口 富男	一五七・二九六
井ノ川良吉	一五一・五二五

村山	半平	一四七
吉樂	正司	一四五・三八四
石沢	貞一	一四三
井ノ川	良平	一四二・四八四
次春雪	勝利	一三一
広田	茂	二二八



おはらいの儀式と模範水泳

「五の日は」
税の相談日

税の相談日
毎月三回実施
五日の「税の相談日」が、全国の税務署に設けられてから、六年目になる。この税の相談日は、納税者の疑問や問題点の解決に、誰でもいくらかは税について疑問や苦情をもつてくるかと思われるが、知らないで悩んでいることのないように、納税者の積極的な利用を望んでゐる。

私の進路

中里村如来寺

服部ノリ子

春は桜、夏はみどり、秋は實金の穂波、冬は一面の銀世界、すばらしい大自然に恵まれた私たちのふるさと。私は両親の愛情にはぐくまれ、四人きょうだいの末子として、なんのくったくもなくのびのびと育ってました。義務教育を終ると、姉の嫁ぎ先の織物工場へ就職しました。姉はやさしい人であつたがこと仕事に關してはとてもきびしく、三年間は無我夢中で過してしまひました。それから一年ようやく仕事にもなれ、全部まかされるようになりました。きびしかった仕事の中にも、私はしあわせでした。姉や家族のみんなが、励まし、いたわり、力づけてくれたからです。ところがある日、私たちに、悲しい不幸がやつてきたのです。それは姉の病死です。元気だった姉がわずか二十日ぐらゐの病床で、介抱も空しく、三十二才の若さでこの世を去ってしまったのです。

病氣というものの恐しさが、今思い出しても身の毛がよたつほど恐しい。當時、私たち一家は、いいしれない悲しみうちひしがれていました。しかし、やがて月日も経ち、私は亡き姉の工場で働いていましたが、その職場からはなれない存在になっていました。姉の死によって考えさせられる点もありましたが、私はしんげんに人生というようなことを考えました。このまま、これといった目的もなく、日々を過していてよいのでも、私のような子は、姉が織物業兄は建築業にとそれぞれ商売をやつていました。土曜日の夜にでもなると、みんな家に集り親子水いらずの団らんを過し、世間話に花を咲かせます。とりわけ商売の話になると、みんな目の色を輝やかせて話しいます。私はみんなの話を聞きながら、商売の難しさ、また生きがいというようなものを強く感ずるのでした。そして私も、兄や姉のように、どんなに苦しくとも生きがいのある仕事に、一生をかけたといふ、激しい衝動にかれるのでした。婚期をむかえた私は、いったいどんな道を選んだらよいか、すい分考へていましたが、やつと農業に生きようという考えに、自分の心を固く決めたのです。しかし、や

以上は、自分の力のあるかぎり精一はいやうやうてみたいと思っています。

農業をきらって、都会に出る青年が多いという新聞記事や話をよく見聞しますが、私は、都会のごみごみした生活よりも、澄んだ空気と、美しい大自然の中で、自分の手で作物を育て、収穫のよこびを味わう生活こそ働きがいのある職業だと思っています。

昨年、さいわい授められたこともあって、蚕業試験場に入所して、養蚕を勉強する機会を得ました。養蚕手、経営簿記、病獣生物、気象、桑桑、蚕種、法規土壌肥料、蚕業汎論、病虫書論など、それぞれ専門家の先生方の指導を受け、実習にも励みました。いままで重いものを持たなかったのなない私は、実習で手ごまめを「ばいつくって、みんなに「お嬢さん育ち」と笑われたりもしました。自分ながらも、歯がゆいおもいで、勉強の方けとにたく、何回か失敗もしました。そんなわけで、あとできいたことですが、先生方は、私がいつ家へ逃げ帰るか、いやにならずで中退しなければいいがと、

とすべからずたれてしまひます。養蚕の勉強を了つて帰つてくると、私のひよなな体力を、周囲の人たちまでがなんだかんたんと心配してくれました。そんな時、私は、自分の選んだ道がまちがつていなかつたかと、あらためて深く自分を見つめるのでした。まちがつていた。いやそうではないと、二つの心がからみ合い、しかし、意を決して自分の進むべき道に入。た以上は他人の言葉にまどわされてはい

公(おおやけ)の知籍で、本村と称する地名は全国でまれであるとい聞いている。田沢村本村には、その昔、いぶら川の巨礫で村山五郎衛という実力者が居て、当文明開化に多大な功績を残したという。本村という地名生まれたのも、そのあらわと推察される。

一段と高い緑の森の中に曹洞宗広河山泉龍寺が鮮やかな色彩の屋根を誇っている。また部落中央には、鎮守十社の安置されている。このこの彫刻は、田舎にはちよつ

人生往来

けないと思っている。身体に薬するだけがしあわせではない。自分で生きがいのある仕事に、一生をかけてこそ、ほんとうのしあわせが得られるのだと思う。くじけてはいけない。がんばろう。そう私は自分にいい聞

南雲	大口	松沢	高橋	樋口	◎座 声	子 の 名	父 の 名	部 落 名
邦天	健一	尚樹	彰	正俊		利 夫	通り山	倉 俣
茂	一 夫	義 尚	治	夫			堀之内	

△部落紹介▽
⑫

田沢本村

堤から露の泉のダムは満々と水をつたえ、信濃川の蛇行を追えば、空橋から遠く十日町橋まで一望できる。祠の前方庭広場には数百年もの年輪を重ねた五葉松の枝は地を這う荒廃した國土に緑を深めた。

(R・K生)

（K・K生）

中魚沼郡婦人会役員研修会

中里村役場

表、また、自分の周囲を見わたしての発表等（津南町、関沢チヨ「僻地に住んで五十年」川西町、高橋サチ「農政と私達」中里村、古高コト「養蚕にささげる私」）を中心に、午後からは北都工業短大教授、山口五郎先生から「社会の動きと私達の生活」という演題で講演をして頂き、約百五十人の参集者に深い感銘をあたえました。

【写真は「農政と私達」というテーマで発表する川西町の高橋さちさんと、それを聞く参集者たち】

防ごう!!

これからふえる水死事故

死した時は、そ
者に対して葬祭費
を保険証を病院の
ましよう。

◎危険な遊びをさせないこ
と
今年五月末まで
に、県内で幼児十
七八（うち一・二
才児十五人）の尊
い命を水の事故に
よって奪われてい
ます。幼児は危い
知らずで、危険な
とつて平気で近

りますし、全く想像もつかな
よくな、わすれかね水溜りや風呂
桶でも死にすることがあります
ので、常に目を離さないように注
意することが大切です。

◎危険な遊びをさせないこ
と
幼児も三才くらいになります
と、運動神経も活発になり、ま
た、大胆な遊びをするようにな
ります。さらに五・六才に成長
すると、危険な遊びを好むよう
になりますが、危険な遊びを見
つけたときは、それがどの子
どもであっても、見て見ないふ
りをしてしないで、優しく注意し
てやめさせる配慮をお互いに持た

いものと思っています。

家庭周辺の危険箇所を
取り除いてやること

家のまわりには防火用水や溜
い、セギ、石垣などのように、
児にとって危険な場所が多い
うです。ところがおとなはそ
ほど危険を感じないために、
外気が付かない場合があるも
です。事故が起きてから大急
ぎをするまえに、もう一度家
まわりを点検し、危険なこ
は早速予防修理するようにし
ほしいものです。

(中里村青少年問題協議会)

養豚講演会 の開催

①期日 七月二十三日(水)
午前九時三十分より午後四時
まで。
②会場 長岡市厚生会館
③講師 畜産振興事業団、食肉
課長 小野國孝氏
④演題 豚の流通事情と見通し
⑤テキストと自己用をこ用意下さ
い。

各戸に郵便受
箱と表札を

郵便を配達するうえに、いち
ばん困るのは「読めない表札」
と「差し入れ口のない家」です
なかでも受箱のない家は、る
すであつたり、玄関がしめ切り
になっていたりすると、郵便物

養豚講演会

養豚の奨励と養豚経営の近代
を目的で養豚講習会が開
なれますので多数で聴講下さ

移動心配ごと相談所開設

来る七月二十五日、三十日と
日間にわたつて移動心配ごと
該所が開設されます。詳細は
記のとおりですので心配ごと
ありません。おでかけ下さ
り午後四時まで
・日時 七月二十五日午前九時
より午後四時まで
・場所 宮中 吉森民生委館
・日時 七月三十日午前九時と
り午後四時まで
・場所 倉俣重郎公民館内
◎相談員は、いづれも中里村行

不用犬の買い上げ 毎月 第三木曜日

中里村公民館前で

明るい家庭づくり

(社明月間にあたりて)

齊藤大馨

今月は社会を明るくする運動の月間中である。ある中学校のPTAから「親と子の作文集」が

出版された。加藤という会長さんで君手の実業家である。親と子のあり方に深い関心をもち、実態調査のため寸暇をさして、一軒一軒家庭を訪問しているそうである。文集の発行もその熱意のあらわれである。まず、父親側の云分で注目す

毎日、子供のために働き、りも笑いもし、ときにほめてやる。しかし生活に追われて家がそろって、テレビを見たすることが、月にいく日もなかったまま夕食ときに帰宅する食糧オルガンに合わせて家族全員、私のタクトで「白地に



べきは、現代の子は自由でありながら一面自由を奪われてゐる。学校も家庭では一にも勉強二にも勉強、外へ出ると交通戦争で身心の休まるときがない。かゝり子どもの生活にはとけずてない。恐らくこれが標準家の父親の考え方にちがいない。母親になると、もっと具体的に

すすんで大いに苦しみ、苦しみのなかにも楽しみを加え、体育にも力を入れてほしい。体位の向上は中学の三年以外はない。男坊主ばかり三人、バカ、バカヤロウで、カエルの子どもはカエルで仕方がないが、ふつう学校でもそういうことをつか

感情はかりで叱りとばし「まった」と思うことが外い。んなとき少したつてから「さきお母さんも強いことをいつが、あなたもいけなかったよ」というと「ごめんね」ととて顔を見せられる。子どもは母親に叱っても、子どもは母親

「さうして手ともの目に両親はばかち映るか。母のおこる一番の因は、ほくのムタづかいた。母もめるさいが、父はもっとよきさい。自分がこゝをいわれなだけのことをしてしているのだが、まじりもあるのだ、どうしてハイとはいえぬ。

母親が商店をはじめたのでないらしい。みんながそろって楽しい生活がなくなった。もとの生がらやましい。

農縁で仕事が多く父母も困っている。「母がフロをだいて」といっても「ただ今勉強中」だらうていひ出す。ときた「ふへんわ」にくれるね。それでも助かってくれるとすすんでい

わ」「いわれるとすすんでい伝わなければならないし思ふまことに親子の間関係はを難儀妙で、不即不離がすわり

中里文芸

七月投句

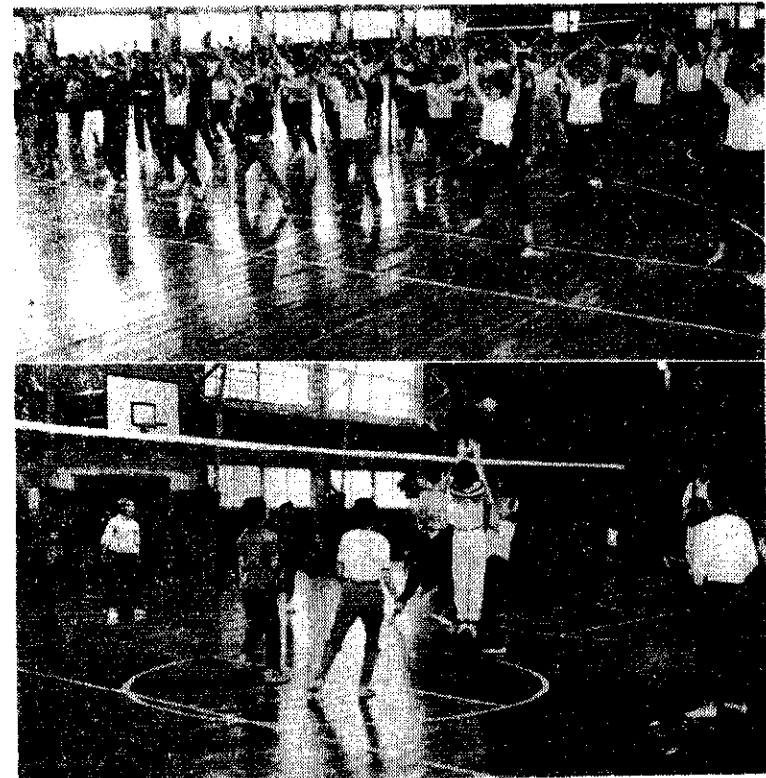
小山大泉選

小山大泉選
原一
ためらわず賣う夏菊を手にあ
らし

第五回県民スポーツの日

婦人バレーボール教室開く

去る六月二十日、第五回県民ポーツの日の行として、今回中村では働く婦人健康づくり、内婦人バレーボール教室を開催した。



加し、田沢小中学校の先生方指導で、うた、ゲーム、たのしい健康体操そしてバレエ、その実技講習と、みんなで練習地区別にチームを編成しての演技においては、各チームとも戦し、日頃の疲れを吹き飛ばす半日ゆかいにたのしく過しました。【写真①は健康体操と②は熱戦のバレエボール】